

2009年度決算 IR説明会



2010年5月14日(金)
日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。
ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。





連結損益

(単位: 百万円)

連結	2008年度	2009年度	伸率(%)
売上高	324,563	296,933	△8.5
営業利益	12,214	23,562	92.9
経常利益	16,225	27,184	67.5
当期純利益	5,622	16,595	195.2

(単位: 百万円)

連結	2008年度 1-3期	2009年度 1-3月期	伸率(%)
売上高	78,703	73,567	△6.5
営業利益	7,098	6,823	△3.8
経常利益	7,928	7,246	△8.6
四半期純利益	4,345	4,321	△0.5



単体損益

(単位: 百万円)

単体	2008年度	2009年度	伸率(%)
売上高	277,759	261,060	△6.0
営業利益	8,389	22,210	164.7
経常利益	11,749	25,116	113.8
当期純利益	3,245	14,443	345.1

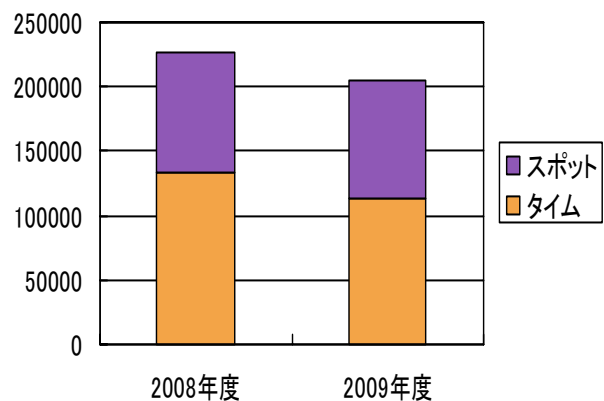
(単位: 百万円)

単体	2008年度 1-3月期	2009年度 1-3月期	伸率(%)
売上高	69,275	64,728	△6.6
営業利益	5,839	5,701	△2.4
経常利益	6,397	6,174	△3.5
四半期純利益	3,232	3,965	22.7



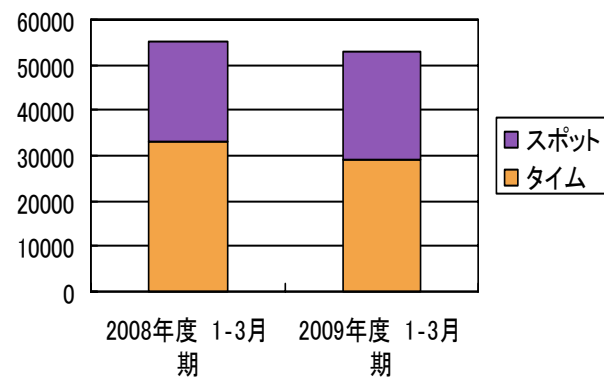
放送収入(単体)

(単位: 百万円)



	2008年度	2009年度	比較	伸率(%)
放送収入	226,662	205,426	△21,235	△9.4
タイム	133,266	112,840	△20,425	△15.3
スポット	93,395	92,585	△810	△0.9

(単位: 百万円)



	2008年度 1-3月期	2009年度 1-3月期	比較	伸率(%)
放送収入	55,240	52,758	△2,482	△4.5
タイム	33,186	29,276	△3,909	△11.8
スポット	22,054	23,481	1,427	6.5



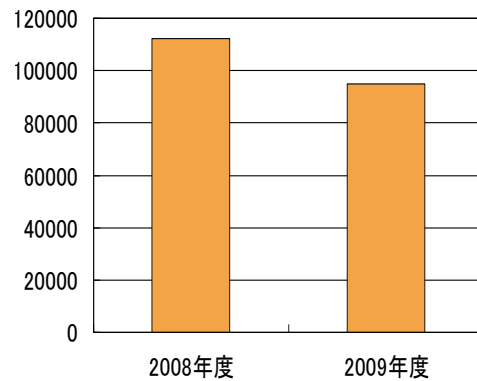
事業収入(単体)

(単位:百万円)

事業種別		2009年度	伸率(%)	2009年度 1-3月	伸率(%)
イベント	イベント	6,185	13.4	1,203	45.4
TV	BS・CS・ CATV他	5,657	7.4	1,343	2.8
コンテンツ	ライツ	2,008	3.1	514	△3.7
	海外番販	617	△37.3	149	10.3
	通販	10,577	26.3	2,638	7.7
	出版	630	△30.4	199	△18.1
	映画	15,416	16.0	2,325	△52.0
	その他	329	△9.3	112	△5.8
合計		41,419	13.2	8,483	△18.9

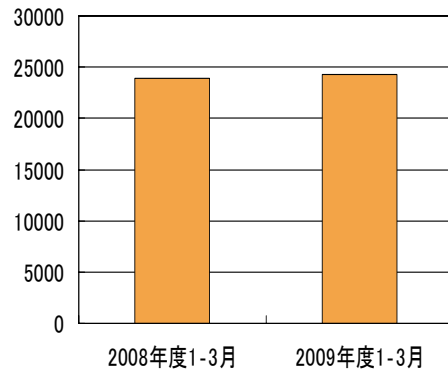


番組制作費(単体・管理ベース)



(単位: 百万円)

	2008年度	2009年度	比較	伸率(%)
番組制作費	112,233	94,717	△17,515	△15.6



(単位: 百万円)

	2008年度 1-3月期	2009年度 1-3月期	比較	伸率(%)
番組制作費	23,943	24,253	309	1.3



設備投資額と減価償却費

(単位: 億円)

2009年度実績	設備投資額	減価償却費
連結	268	96
単体	263	86

* 上記設備投資には、四番町の土地購入分233億円が含まれています

2010年度予想	設備投資額	減価償却費
連結	52	91
単体	45	82



2010年度 業績予想

(単位: 百万円)

通	期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連	結	293,500	25,100	30,900	18,000
単	体	258,000	21,100	25,500	14,700

第 2 四 半 期		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連	結	143,000	8,100	12,300	7,000
単	体	125,000	6,200	9,900	5,500

前提	上期	下期	通期
放送収入	1.5%	△1.0%	0.2%
タイム	△2.4%	△2.0%	△2.2%
スポット	6.5%	0.2%	3.1%
制作費	4.5%	△7.8%	△1.6%



2010年度の経営方針

収益力の向上とトップ奪還の1年に！

コアターゲット視聴率をアップさせ、世帯視聴率でトップ奪還

- ノンプライム帯の視聴率で単独トップに
- 全日帯の視聴率をトップに
- 19時台の視聴率を改善し、ゴールデンタイム・プライムタイムもトップに
- コアターゲット視聴率と世帯視聴率が取れる強力コンテンツの開発

収益の拡大と新たな収益源の開発 ①

- **放送収入**
 - スポット収入でシェアを上げトップに
 - 様々なアイディア(クロスプログラムプロモーション等)を駆使し、
タイム収入を増加基調に

次頁へ



2010年度の経営方針

収益の拡大と新たな収益源の開発 ②

- **放送外収入**
 - 既存の放送外収入の更なる拡大
 - フルデジタル時代を意識し、日本テレビグループの強みを活かした新規事業の開発・推進

あらゆるコストコントロールの継続

グループ各社の個性を活かし、グループ全体の利益を拡大



2009年度視聴率

	NTV	TBS	CX	EX	TX
全日 (6~24)	8.4	6.6	8.5	7.7	3.2
昨年度比	+0.1	-0.9	±0	-0.1	-0.3
プライム (19~23)	12.6	9.7	13.4	11.7	6.7
昨年度比	+0.2	-1.4	±0	-0.4	-0.6
ゴールデン (19~22)	12.5	9.5	13.6	11.0	7.1
昨年度比	+0.1	-1.7	+0.3	-0.4	-0.6
ノンプライム (6~19、23~24)	7.2	5.7	7.2	6.5	2.2
昨年度比	+0.1	-0.8	+0.1	-0.1	-0.2

* 2009年度 (2009/3/30-2010/3/28)



編成方針と4月改編

基本的な編成方針

- 中期編成戦略「経営資源の選択と集中」に則り、視聴者やスポンサーのニーズ、ブランド力の向上など、
々な要素を取り込み、効果的かつ効率的な編成を実施

様

GP帯

- 「嵐にしがれ」
今期各局バラエティ新番組中
最高視聴率 初回17.3%、第2回13.0%、第3回14.9%
土曜日の核となる番組に！



4月改編と今期の戦略 ①

月～金19時台

	番組名	改編後平均視聴率	対2009年比較
月曜日	「不可思議探偵団」	10.5%	+2.8%
火曜日	「火曜サプライズ」	10.6%	+0.9%
水曜日	「脱出ゲームDERO！」	7.6%	-1.3%
木曜日	「ミリオンダイス」	9.5%	+1.3%
金曜日	「うんちくクン」	6.2%	-1.2%

ドラマ

- ターゲットに訴求する話題性の高い企画を編成
- 「Mother」 平均視聴率(4回):11.7%
- 「怪物くん」 平均視聴率(4回):14.9%



4月改編と今期の戦略 ②

平日ベルト番組

- 「PON!」、「DON!」、「news every.」
- 帯(ベルト)番組は視聴習慣が強く、改編結果はまだ判断できない
- しかし、女性層からの支持が増加傾向に



番組制作費

- 2010年度も引き続きコストコントロールを図っていく一方、
- 「必要なものには投入する」メリハリの利いた運用を実施予定

大型単発番組

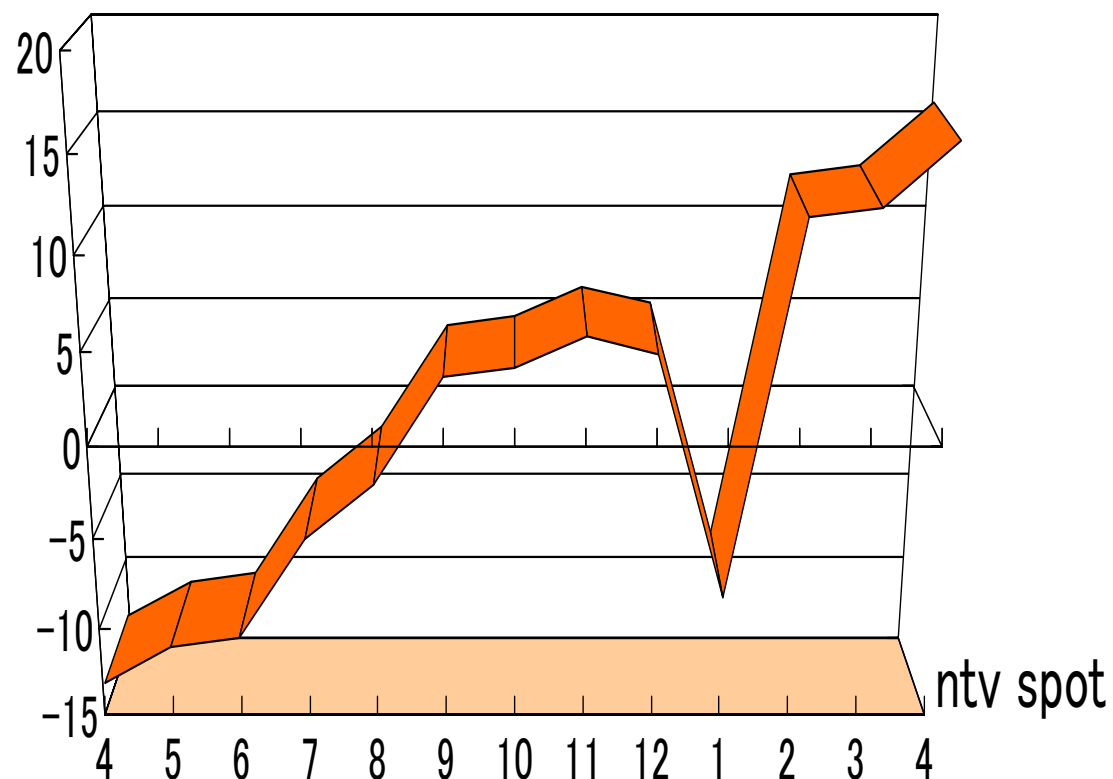
- エコウィークは6月第1週。NHKと連携した環境キャンペーン
- 8月最終週に「24時間テレビ」





スポットセールス

スポット対前年比	
4月	△13.4%
5月	△11.3%
6月	△10.8%
7月	△ 5.2%
8月	△ 2.2%
9月	3.6%
10月	4.1%
11月	5.7%
12月	4.8%
1月	△8.4%
2月	11.8%
3月	12.3%





2010年度 日テレMovie I

	作品名	公開	配給	備考
	名探偵コナン 天空の難破船	4月17日	東宝	人気シリーズ14作目。飛行船を舞台にコナンたちが 宝石「天空の貴婦人」を巡り怪盗キッドと対決する
幹事 作品	書道ガールズ !! わたしたちの甲子園	5月15日	ワーナー・ ブラザース	「ズームイン!!SUPER」発の企画。主人公の女子高生役は 成海璃子。日テレグループ100%出資映画
	Flowers	6月12日	東宝	「TSUBAKI」CMキャストが勢ぞろい。 出演:蒼井優、 鈴木京香、竹内結子、田中麗奈、仲間由紀恵、広末涼子
	それいけ!アンパンマン	7月10日	東京 テアトル	映画アンパンマンシリーズ第22弾。ことしも子供たちに 「感動」と「夢」を届けます
	借りぐらしの アリエッティ	7月17日	東宝	スタジオジブリ期待の新作。企画/脚本:宮崎駿。監督は 今作品が初監督となる米林宏昌
幹事 作品	BECK	9月4日	松竹	発行部数1500万部を突破する人気コミックが原作。 バンド活動を通じた青春ストーリー。主演:水嶋ヒロ
幹事 作品	君に届け	9月25日	東宝	アニメ放送した人気コミックを実写映画化。高校生 の恋と友情を爽やかに描いた作品



2010年度 日テレMovie II

	作品名	公開	配給	備考
	インシテミル 7日間のデス・ゲーム	10月16日	ワーナー・ブラザース	ホリプロ50周年企画。社会から隔離した館で繰り広げられる殺人ゲーム。藤原竜也、綾瀬はるからが出演
幹事 作品	マザーウォーター	10月 公開予定	スールキートス	「かもめ食堂」チームが製作する第4弾。舞台は京都
幹事 作品	ゴースト	11月 公開予定	パラマウント 松竹	1990年に公開された「ゴースト ニューヨークの幻」がよみがえる。松嶋菜々子、ソン・スンホンらが出演
幹事 作品	GANTZ 前編	2011年1月 公開予定	東宝	映像化不可能と言われた超人気コミックが実写映画に二宮和也、松山ケンイチらが出演。春に後編公開予定



4月17日公開



5月15日公開



7月17日公開



10月16日公開



通販事業 ①

増収増益を達成

- ・ 売上高:105億7600万円、収支:10億6200万円(売上、収支とも過去最高)

増収増益になった理由

- ・ 系列局やBS日テレなどでの放送で売場面積を拡大
- ・ 売れ筋商品を発掘 (gentenのバッグなど)
- ・ 「お歳暮スペシャル」や「行列の出来る通販王」など特番好調



売上ベスト5 (2009年4月～2010年3月)

- ・ ①オンリーミネラルファンデーション
- ・ ②ジーニー インスタントラインスムーサー
- ・ ③日テレ限定 genten牛革オリジナルバッグ
- ・ ④花畑牧場セット
- ・ ⑤HAMANO 牛革2WAYバッグ

化粧品
化粧下地
バッグ
食品
バッグ





通販事業 ②

2010年度の戦略

系列局などでの展開

- ・ 昨年同様、特番を中心に系列局等での展開を進め、放送枠を確保

レギュラー番組、および特番の充実

- ・ 「Pon!Pon! ポシュレ」 — スタジオの生放送部分との連携
- ・ 「ポシュレデパート深夜店」 — より一層の放送枠拡大
- ・ 「特別番組」 — オリジナリティのある番組の開発

デジタルメディア展開の拡充

- ・ 昨年度はYahooに出店。今年度は更に積極的にネット展開を深める



Yahooに掲載している「Pon!Pon! ポシュレ」の売れ筋レコメンドのバナー例





連結キャッシュフロー計算書

(単位: 百万円)

	2008年度	2009年度
営業活動によるキャッシュフロー	23,948	40,130
投資活動によるキャッシュフロー	△28,330	△46,846
財務活動によるキャッシュフロー	△4,803	△5,697
現金および現金同等物の期末残高	57,629	45,218



業種別スポット売上(通期)

	2009年度	シェア	伸率(%)		2008年度	シェア	伸率(%)
1	化粧品・トイレタリー	9.0	8.9		電気機器	9.0	△ 0.5
2	アルコール飲料	7.5	1.4		化粧品・トイレタリー	8.2	△ 9.3
3	薬品	7.3	2.2		運輸・通信	8.1	△ 15.4
4	電気機器	7.1	△ 22.2		輸送機器	7.4	△ 11.4
5	輸送機器	7.0	△ 6.9		アルコール飲料	7.3	0.5
6	運輸・通信	6.9	△ 15.8		薬品	7.1	△ 8.7
7	映画・演劇興行	6.3	26.7		非アルコール飲料	5.6	△ 16.9
8	サービス	6.1	19.8		サービス	5.1	△ 5.3
9	非アルコール飲料	4.6	△ 19.7		映画・演劇興行	4.9	△ 6.7
10	金融・保険業	4.5	△ 0.5		金融・保険業	4.5	△ 21.4
	その他	33.9	2.3		その他	32.8	△ 15.6
	合計	100.0	△ 0.9		合計	100.0	△ 11.5



業種別スポット売上(1-3月期)

	2009年度1-3月期	シェア	伸率(%)	2008年度1-3月期	シェア	伸率(%)
1	輸送機器	9.9	19.7	運輸・通信	9.6	△ 32.8
2	運輸・通信	8.6	△ 4.9	輸送機器	8.8	△ 25.8
3	アルコール飲料	6.9	△ 4.1	アルコール飲料	7.7	3.0
4	サービス	6.3	15.0	サービス	5.9	△ 5.4
5	映画・演劇興行	6.3	14.9	映画・演劇興行	5.8	△ 0.3
6	化粧品・トイレタリー	5.7	28.2	電気機器	5.7	△ 29.4
7	食品その他	4.8	50.3	薬品	5.7	△ 20.4
8	金融・保険業	4.5	23.1	非アルコール飲料	4.9	4.9
9	薬品	4.4	△ 18.3	化粧品・トイレタリー	4.8	△ 39.9
10	電気機器	4.3	△ 19.6	金融・保険業	3.9	△ 42.8
	その他	38.3	9.5	その他	37.2	△ 5.8
	合計	100.0	6.5	合計	100.0	△ 16.6



NITTELE DA BEAR

本日は、お越しいただきありがとうございました